

会 議 録

□ 全部記録

■ 要点記録

1 会 議 名	第 7 回姫路市新美化センター周辺地域連絡調整会議
2 開催日時	令和 7 年 1 1 月 8 日（土曜日） 1 8 時 0 0 分～1 8 時 5 0 分
3 開催場所	津田公民館
4 出席者又は欠席者名（敬称略）	<p>（出席者）津田地区連合自治会加茂自治会：吉田達生会長</p> <p>〃 今在家自治会：井上清勝会長、八木実副会長、井上秀昭副会長、 藤原昭一副会長</p> <p>〃 構自治会：三木章司会長、木村正副会長</p> <p>〃 思案橋自治会：東龍太会長、鴨川敏之副会長、山本道人役員</p> <p>英賀保地区連合自治会：魚田政敏会長、西川茂樹副会長</p> <p>飾磨橋西地区連合自治会：水田勝啓会長、達賀善忠副会長</p> <p>飾磨橋東地区連合自治会：大野光生会長</p> <p>（欠席者）津田地区連合自治会加茂自治会：土島広紀副会長、本間忠副会長</p> <p>津田地区連合自治会構自治会：渡邊浩副会長</p> <p>飾磨橋東地区連合自治会：野田勝也副会長</p> <p>（事務局）農林水産環境局長、環境事業推進室長、環境事業推進室主幹、環境事業推進室 7 名</p>
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、傍聴人 3 名
6 議題又は案件及び結論等	<p>報告</p> <p>（1） 事業の進捗状況について</p> <p>（2） 事業の今後の予定について</p> <p>議題</p> <p>（1） 地域からの要望に対する市の方向性について</p> <p>（2） 今後の流れについて</p>

7 会議の全部内容又は進行記録

詳細については別紙参照

第7回姫路市新美化センター周辺地域連絡調整会議 会議録（内容）

会議の記録

●報告

（１）～（２）について事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

意見等なし。

●議題

（１）～（２）について事務局より説明。

【質疑応答、意見等】

出席者：防犯灯の電気代の補助について、新美化センター稼働後の２０年間、現行の補助額の２分の１を上乗せするとのことだが、現行の補助額はいくらか。

事務局：現在の実績額は対象とする自治会の合計で年間約３００万円である。よって上乗せ分としては、年間約１５０万円の２０年分で約３，０００万円の規模の補助額を想定している。

出席者：防犯灯は地域の安全に非常に効果がある。補助額の上乗せにより削減できる電気代は、ＬＥＤの交換費用などにも使用できるので非常にありがたい。

出席者：５ページの要望に対する市の方向性について、決定している要望事項は５番「思案橋地区の法定外道路の市道認定化」と６番「防犯灯電気代の補助」のみか。

例えば、２番の「国道２５０号の渋滞対策への継続した取り組み」のうち、広畑幹線・鹿谷田線、夢前川右岸線については、新美化センターの稼働までに整備を終えることはできないのではないか。

事務局：２番については非常に大きな課題であり、姫路市が行う既存の街路整備事業を計画通りに進めていくことをはじめ、担当部局にとらわれず姫路市全体で対応していきたい。

出席者：基本計画では総建設費用は約３５０億円であったが、昨今の物価上昇を考慮すると建設費にも影響が出ると考えている。計画の３５０億円にこだわるとどこかにしわ寄せが生じて、高機能な良い施設ができないのではないか。必要なものはしっかりと見積り、良い施設としてほしい。

事務局：基本計画策定にあたり税込約３４１億円としていたが、見積を取ってから１年以上が経過しており、物価の上昇や整備内容の具体化などにより費用は変化している。予定価格には物価上昇分等を適切に反映させていく。ただし姫路市の予算にも限りがあるので、プラントメー

カーとも意見交換をしながら、同じ機能の施設を造るにしても少しでも安価で発注できる努力はしたい。

出席者：8ページの今在家公民館、加茂自治会倉庫の補助期間が令和9年度から令和13年度となっているが、新美化センターが稼働する前に補助が可能ということか。

事務局：各自治会でそれぞれ計画があると思うので、柔軟に対応できる期間として姫路市の案を提案した。

出席者：5ページについて市の方向性は概ね理解できたが、地域が協力しやすいように各項目の課題について、例えば、1番の大研修室の管理体制や、4番の集会施設の建設が不可能な理由、5番の法定外道路の排水問題などについて説明をお願いしたい。また、各要望事項について地域と連携をとりながら進めてほしい。

事務局：1番の大研修室の施設管理は運営事業者が行う予定としている。施設の利用方法などは地域と相談しながら検討していきたい。

4番について津田公園の現行の用途地域では建築基準法上、集会所は建てられない区分となっている。集会所を建設するには都市計画における用途地域の変更が必要となるので、引き続き都市局と情報共有していきたい。

5番については、まずは現地の測量を実施し、排水や境界など現況を確認したうえで実施設計を進めたい。

いずれにしても各要望事項については、地域の皆様の意見を聞きながら進めていきたい。

出席者：大研修室にはエアコン設備は設置されないのか。

事務局：避難所としても活用するのでエアコン設備は設置する。

出席者：大研修室は津田地区の住民のみが利用できる施設か。

事務局：姫路市の施設であるため、全市民が利用できる施設を想定している。

●その他

地域連絡調整会議の今後のあり方について、事務局より説明。

これまで7回の会議を開催し意見交換を重ねた。地域の課題解決に向けた要望に対する市の取り組みについて、概ね理解を得られたと思っている。

今後の会議では事業の進捗状況の報告が主要となるので、年度当初の4月頃と9月頃の年2回程度の開催としてはどうか。

また、今後参加される構成員についても意見をいただきたい。

【質疑応答、意見等】

出席者：他の環境の会議等と同程度の年2回で良い。

出席者：来年度、自治会の役員の改正があるので、変更があれば各自治会内で新美化の事業についての引継ぎが必要になってくる。

出席者：新美化センターの建設は大規模な事業であるため、構成員は現行と同規模で良いのではないか。

出席者：基本的には津田地区以外の自治会も含めて、各連合自治会から最低1名は出席したい。工事期間中や施設稼働後も、関連する地域の情報は把握しておきたい。

出席者：会議が年2回の開催であれば、会議時以外にも郵送等で定期的に資料を提供いただければ、進捗状況を把握することができる。

事務局：今後は基本的に4月頃と9月頃の年2回の開催とし、必要があればそれ以外でも開催することとする。

構成員は会議開催要領で連合自治会長とそのほか開催ごとに自治会内で選出していただくこととしているため、各自治会で検討いただくこととしたい。

以上